令和6年度 児童館年間利用数

八幡児童館

令和5年度							令和6年度					
学年	学童登録人数	延長保育					学童登録人数	延長保育				
		17時～18時		18時～19時				17時～18時		18時～19時		
1年	19	名	10	名	4	名	20	名	16	名	3	名
2年	13	名	5	名	3	名	20	名	7	名	2	名
3年	18	名	8	名	4	名	11	名	4	名	1	名
4年	13	名	2	名	1	名	18	名	3	名	1	名
5年	7	名	0	名	0	名	7	名	1	名	1	名
6年	3	名	0	名	0	名	5	名	0	名	0	名
合計	73	名	25	名	12	名	81	名	31	名	8	名

自由来館者数													
令和5年度							令和6年度						
幼児	小学生		中高生	大人	その他	合計	幼児	小学生		中高生	大人	その他	合計
	1～3	4～6						1～3	4～6				
1,570	231	157	118	1,487	0	3,563	1,764	274	104	106	1,924	715	4,887

学童年間利用数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年度	1,083	1,052	1,003	1,052	947	995	941	921	876	823	771	814	11,278
6年度	1,202	1,014	1,021	1,181	900	946	979	883	936	846	841	958	11,707

ヒヤリハット　A（危険度重）B（危険度中）C（危険度軽）	事故報告　（受診を要した件数）	要望・意見・苦情　報告
A：　1件　　B：　12件　　C：　6件	8件	要望：　0件　　意見：　0件　　苦情：　0件

方針	基本法	重点目標	計画(P)	実践内容(D)	評価(C)	改善（A）
サービスの質の向上		子育て支援の強化	・地域の子育て世代が利用しやすいように児童館だよりやSNSを活用してイベント内容を発信する。 ・親のリフレッシュの場、親同士の交流の場を提供できるように利用者のニーズを把握しながら行事内容を検討し実行する。	・インスタグラム行事や広場の様子を掲載し、利用者への提供を行った。 ・地域の主任児童委員と密に連絡を図り、行事内容を計画した。	・行事内容をインスタグラムに情報提供を行ったことで利用者増となった。	・令和6年度からは子育てチーフアドバイザーの配置が決まり、利用者への支援体制が強化出来るように取り組んで行きます。
		児童育成の拡充	・中・高生に職業体験・福祉体験の場を提供する。 ・小学生高学年児童が主体でできる行事の実施。	・トライやるウイーク3校より10名受け入れ。 ワークキャンプ2名受け入れ。 ・一般児童の参加を促すため、児童館行事を見直し、利用者へ周知を図った。	・トライやるウイーク・ワークキャンプを受け入れることで、中・高生にもいつでも遊びに来れることを伝えていくことで居場所づくりとして行えた。 ・小学生高学年児童の主体となった行事の中身を見直すことが課題となった。	・トライやるウィーク・ワークキャンプの積極的な受け入れを行っていく。 ・小学生高学年児童が主体となる行事を見直し、ジュニアリーダーの育成に取り組みます。
地域との共生		地域との連携	・地域ボランティアの活用 ・子育てコミュニティ事業の計画・実施。 ・児童館の行事の案内を地域の方に配布をする。	・主任児童委員に託児ボランティアを依頼した。 ・子育てコミュニティ事業は年間行事を立て、地域の支援者と一緒に行事を行った。	・主任児童委員による託児ボランティアを活用することで情報交流できた。 ・子育てコミュニティでは地域団体の方に協力していただき、夏祭りやハロウィン行事を行うことが出来た。	・託児ボランティアについては引き続き主任児童委員にお願いしていく。 ・子育てコミュニティ事業も年間行事予定を一緒に計画、実施を行っていきます。
		年間利用数	・自由来館 年間利用者予定数（5,170名） ・学童保育クラブ年間利用者予定数（1,000名）	・自由来館利用者 4,887名 ・学童保育利用者 11,707名	・令和5年度と比べると自由来館者数は増えた。今後も利用者を増やしていきたい。 ・学童保育利用者は少しづつではあるが増えて行っている状況である。	・学童保育利用が増えて行っているなか、乳幼児のクラブ活動の充実、児童館行事の見直しを図り、一般来館の受け入れ増も行っていきたい。